



博光社長

組織強化を継続し、幅広いニーズの獲得を目指す 山田健二氏

事業の中核はマンション用ボイラーの販売、交換、メンテナンス。今期は前年比130%のペースで売り上げを伸ばしている。その鍵は05年に完工したマンションの棟数。このデータに5年前から着目し、17年に交換需要が拡大す

ると予想。組織強化を図ったことが奏功した。

「社員教育を徹底し施工の質を磨いている。時には社内ボイラーを解体するなど、常に技術の習得に取り組んでいる」と現場主義を貫く。

屋内用ボイラーの交換実績は6年連続、屋外用は3年連続で道内トップを獲得。札幌を中心に多くのマンション管理会社、管理組合からボイラー指定業者として認定を受けていることも信頼の証しだ。

「18年はボイラー交換に加えパネルヒーターや配管の修理・交換も積極的に手がけていく。現場の対応力を強化し、より広いニーズに応えたい」と、事業の幅を広げる構え。

(やまだ・けんじ) 1968年生まれ。高校卒業後、博光電業に入社。その後電気工事会社での勤務を経て、再び博光電業で勤務。2002年に社長就任。09年に会社名を博光に変更。